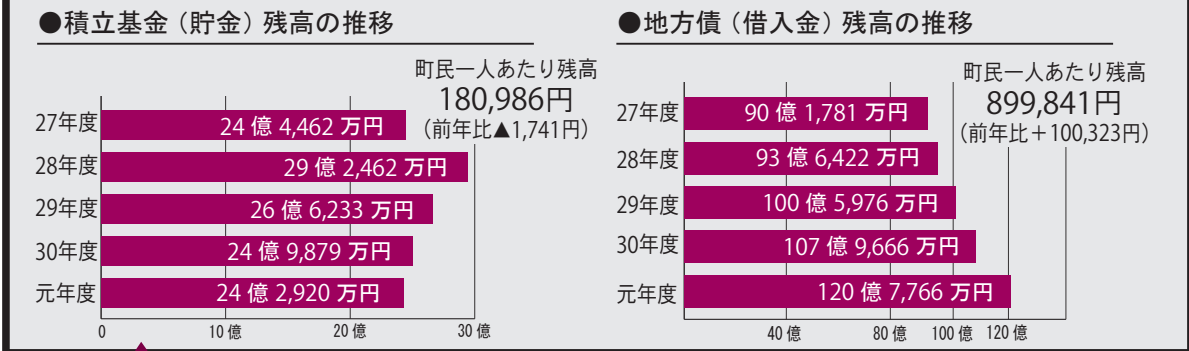


## 基金と地方債の残高状況を見てみよう!



### 主な基金(積立基金)の積立状況

名称	金額
財政調整基金	9億5,474万円
減債基金	5億5,675万円
公共施設整備基金	4億9,344万円
スポーツセンター整備基金	1億986万円
福祉振興基金	1億2,363万円
その他の基金	1億9,078万円
積立基金合計	24億2,920万円

### 「基金」とは?

特定の目的のために積み立てる町の預貯金のことです。財政調整基金や今後の事業のために積み立てを行うもの(積立基金)のほか、定額の資金を運用するためのもの(定額運用基金)があります。

今の白鷹町の財政状況はどうなっているのかなあ?

令和元年度は、共創のまちづくりの理念のもと、人口減少対策や地方創生に向けた施策を展開してきました。

一般会計における決算は、前年度に比べ歳入総額で5億2,028万円(5.3%)、歳出総額で6億6,188万円(6.8%)上回る結果となり、収支差引は7億1,443万円となりました。

歳入については、町が自主的に収入することができる町税などの**自主財源**は、税収入が21億6,306万円減少したものの、公共施設整備基金等繰入金金の増などにより、前年度に比べ約7億1,744万円の増加となりました。また、国や県からの補助金や地方交付税、地方譲与税、町債(借入金)などの**依存財源**も、約4億4,854万円の増加となりました。

歳出については、支出が義務づけられ任意に削減できない**義務的経費**は、公債費(借入金返済)が約2億3,122万円、扶助費(住民福祉経費)が約8,444万

## 前年度との比較と今後の見通しについて...

円の増加となりました。義務的経費以外の**任意的経費**では、普通建設事業費(公共・公用施設の整備経費)が、老人福祉施設整備支援事業の増などにより約4億5,644万円の増加となりました。

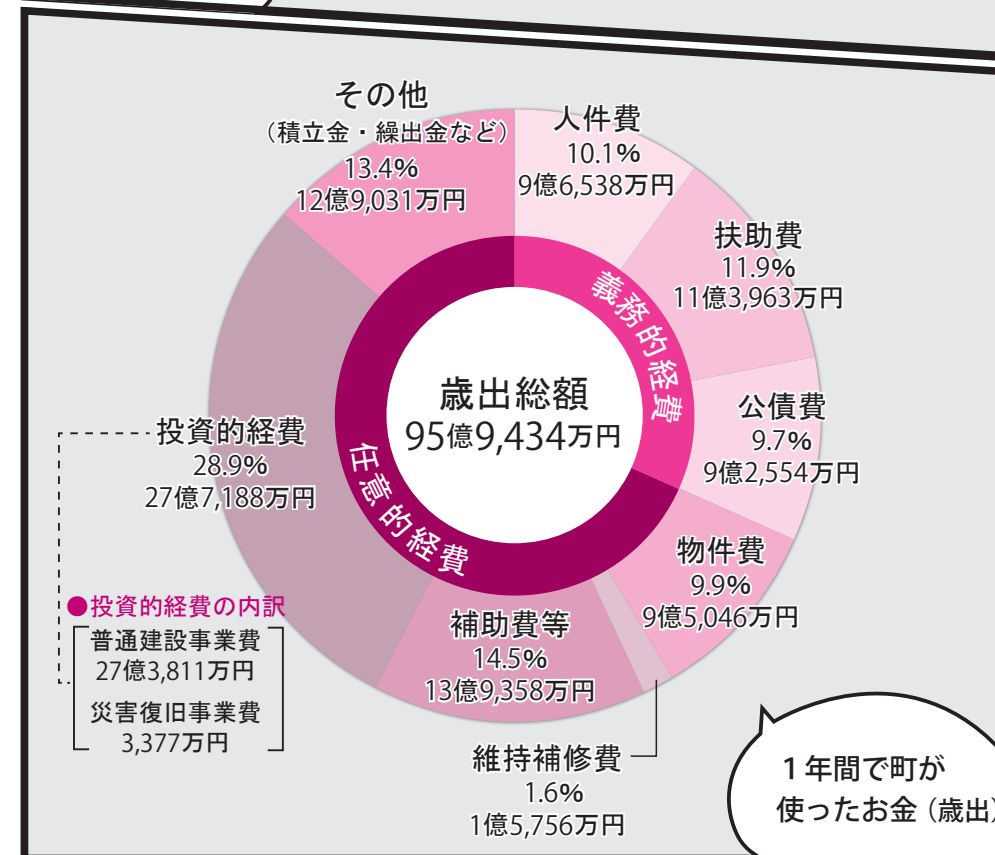
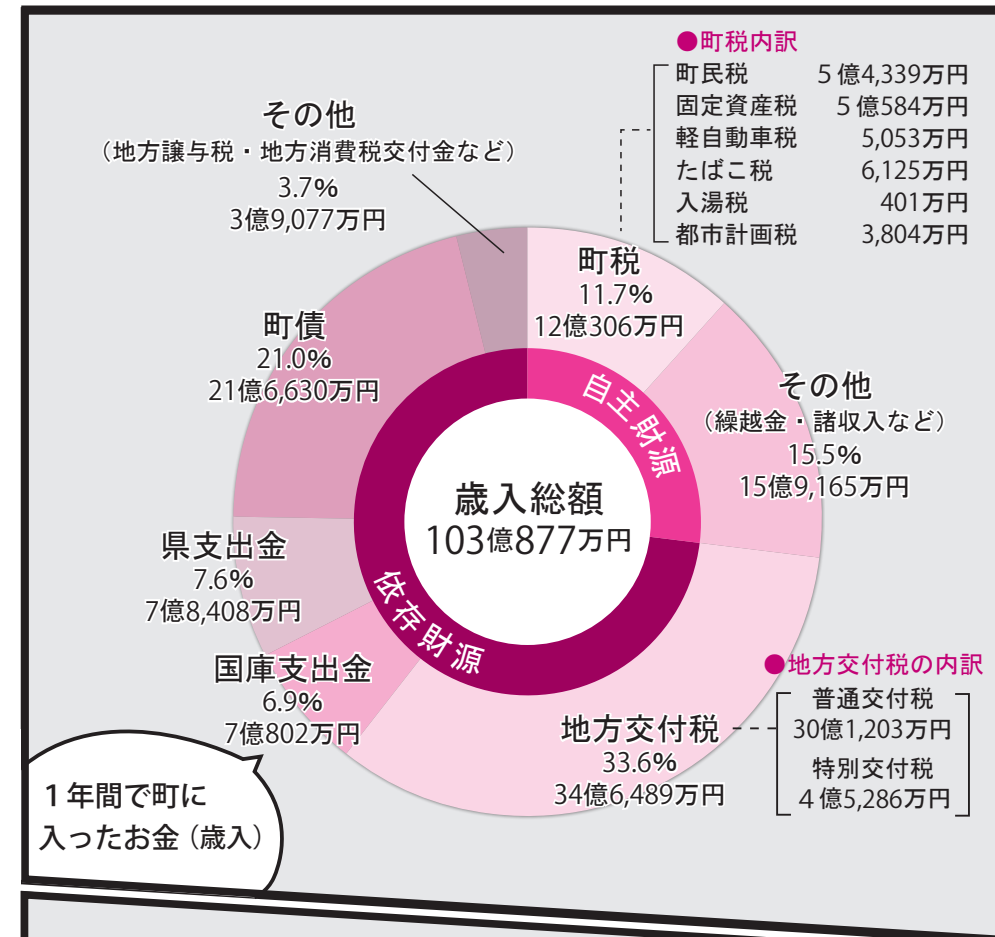
そのほか、今後見込まれる財政需要等に備え、減債基金(将来の借入金返済に備える基金)に1億5,000万円の元金積立を行いました。

持続可能で健全な財政運営を基本とした取組を進めています。が、投資的経費の増加により地方債(借入金)残高が増加することに加え、国から配分される地方交付税と国や県の補助金などへの依存度が高く、自主財源の確保が大きな課題となっております。

引き続き、計画的な行財政改革の推進に努め、より良いまちづくりを進めてまいります。

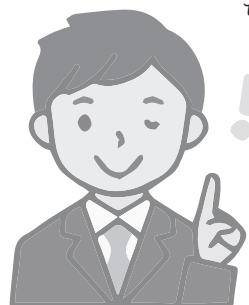
では、具体的にどのようにお金が使われたのか、気になる中身を次のページで見てみよう!

## 令和元年度一般会計の決算内訳がコチラ!



皆さんに納めていただいた税金の使い道がわかる!

令和元年度の決算を報告します。





(※万円未満は端数調整あり)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
十王財産区特別会計	352万円	47万円	305万円
下水道特別会計	5億8,126万円	5億6,430万円	1,696万円
国民健康保険特別会計	14億6,871万円	14億5,488万円	1,383万円
農業集落排水特別会計	1億4,753万円	1億4,302万円	451万円
介護保険特別会計	16億9,141万円	16億2,436万円	6,705万円
後期高齢者医療特別会計	1億5,096万円	1億4,904万円	192万円
水道事業会計〈収益的収支〉	3億217万円	2億6,780万円	3,437万円
水道事業会計〈資本的収支〉	1,981万円	2億4,946万円	▲2億2,965万円
病院事業会計〈収益的収支〉	10億2,776万円	11億2,959万円	▲1億183万円
病院事業会計〈資本的収支〉	1億3,230万円	2億2,937万円	▲9,707万円
訪問看護ステーション事業会計〈収益的収支〉	1,968万円	2,382万円	▲414万円
合計(一般会計を含む)	158億5,388万円	154億3,045万円	4億2,343万円

※特別会計・事業会計は、一般会計と区分し特定の収入と支出で経理を行なう会計です。

次に、特別会計・事業会計の決算状況を見てみよう！

### 公営企業における資金不足比率について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問回数を減らすなどの対応を講じた結果、訪問介護ステーション事業会計において、資金不足が生じましたが、経営健全化基準を下回りました。そのほか、水道、町立病院、下水道、農業集落排水の会計において、資金不足は発生していないため比率はありません。

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
訪問看護ステーション事業会計	0.9	20.0

令和元年度決算に基づく本町の状況は、実質公債費比率(前年度比+0.2)、将来負担比率(前年度比+12.6)ともに増加しましたが、すべて早期健全化基準を下回りました。引き続き健全な財政運営に取り組んでまいります。

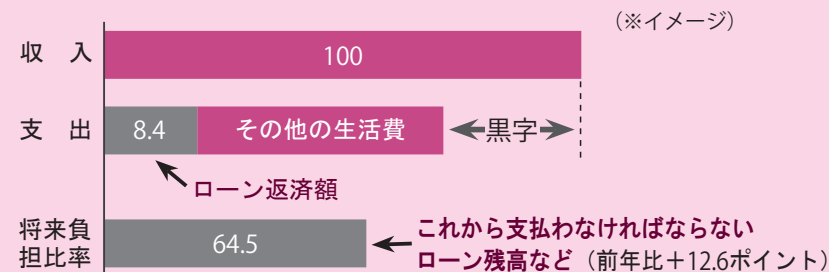
### 健全化判断比率(速報値)

(単位：%)

比率名	本町の状況	早期健全化基準	財政再生基準	参考：昨年度の状況
①実質赤字比率	— (赤字なし)	15.00	20.0	— (赤字なし)
②連結実質赤字比率	— (赤字なし)	20.00	30.0	— (赤字なし)
③実質公債費比率	8.4	25.0	35.0	8.2
④将来負担比率	64.5	350.0		51.9

①実質赤字比率：1年間の家計に占める赤字の割合 ②連結実質赤字比率：2世帯住宅などの場合、それぞれの世帯の家計を合算した家族全体での1年間の家計に占める赤字の割合 ③実質公債費比率：年収に占めるローン返済額の割合 ④将来負担比率：ローン残高や生命保険の支払いなどが年収の何年分に相当するかを示した割合

### それぞれの比率を家庭に例えると…



実質公債費比率・将来負担比率ともに増加  
令和元年度決算に基づく「健全化判断比率および資金不足比率」を公表します！

## 令和元年度は、このようにお金が使われました！

歳出を町民一人あたりでみると  
総額 71 万 4,822 円 (+5 万7,552 円)

※町民一人あたりの金額は、令和2年3月31日現在の町の住民基本台帳人口1万3,422人で割ったものです。

### 民生費

民生費とは、障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのための経費です。

使われたお金…24億9,074万円  
→町民一人あたり…18万5,572円(前年比▲3万7,969円)

障がい者福祉の増進に努めたほか、旧西中学校跡地への介護老人福祉施設の整備支援や、町内教育・保育施設全園で0歳児からの保育実施など、障がい者・高齢者福祉及び子育て環境の充実・支援に取り組みました。

### 衛生費

衛生費とは、母子保健、医療、環境などのための経費です。水道事業会計、病院事業会計への支出も含まれます。

使われたお金…5億6,111万円  
→町民一人あたり…4万1,805円(前年比+2,211円)

各種検診等の実施により健康寿命の延伸に努めたほか、「子育て世代包括支援センター」におけるきめ細やかな支援、新たな取り組みとして母子手帳アプリ「紅ほっぺ」による子育て情報の配信など、妊娠期から子育て期までのさまざまなニーズに対し、切れ目ない支援に取り組みました。

### 農林水産業費

農林水産業費とは、農業・林業・水産業振興の事業のための経費です。

使われたお金…6億8,636万円  
→町民一人あたり…5万1,137円(前年比+6,341円)

基幹的産業である農業の担い手育成支援とともに、森林整備と森林資源の利活用に向けた森林境界明確化事業や、深刻化している農作物の鳥獣被害に対応するため、電気柵設置支援や狩猟免許取得支援に取り組みました。

### 商工費

商工費とは、商工業振興、観光振興などの事業のための経費です。

使われたお金…6億7,589万円  
→町民一人あたり…5万357円(前年比+2万7,503円)

がんばる商店応援事業や低所得者等向けのプレミアム付商品券の発行、町産材等木造建築推進事業など、消費需要の喚起と町産材の利用促進に取り組みました。また、紅花を核とした更なる生産・観光振興を図るとともに、白鷹町地域交流商業施設整備を行いました。



### 土木費

土木費とは、道路、橋、河川、公園など、まちづくりのための経費です。

使われたお金…5億2,368万円  
→町民一人あたり…3万9,016円(前年比▲1万1,789円)

町道や橋梁の長寿命化工事を行うとともに、住宅のリフォームに対する支援や若者世代の定住促進のための住宅施策等に取り組みました。

### 教育費

教育費とは、学校教育や生涯学習の充実、スポーツ等の振興のための経費です。

使われたお金…7億8,275万円  
→町民一人あたり…5万8,319円(前年比+2,438円)

学校教育では、全小中学校に冷房設備を整備し、夏場の学習環境の改善を図りました。また、英語教育の推進、学力向上に向けた指導体制の継続、学習用パソコンの更新等に取り組みました。スポーツ関係では、スキー場の圧雪車更新やホストタウン交流事業に取り組みました。

### 公債費

公債費とは、地方債を返済する元利償還金と一時的な借入をした場合の支払利息のことをいいます。

使われたお金…9億2,554万円  
→町民一人あたり…6万8,957円(前年比+2,966円)

建設事業などを行うために借り入れたお金の返済などに使われました。

### その他

総務費、消防費、議会費、労働費、災害復旧費などです。

使われたお金…29億4,827万円  
→町民一人あたり…21万9,659円(前年比▲1万87円)

総務費では、平成29年度に着工したまちづくり複合施設本体が完成を迎え、地域おこし協力隊の活動支援、各地区の自主防災会の協力のもと空き家実態調査などを行いました。また、消防費では、小型ポンプ積載軽自動車配備などを実施しました。これらのほか、議会費、労働費、災害復旧費に使われました。

### 令和元年度に実施した主な取り組み(抜粋)

- 1\_ 地域交流商業施設内の様子
- 2\_ まちづくり複合施設の完成
- 3\_ 小学生によるプログラミングの授業